

令和7年3月7日

国土交通省中部地方整備局

現場ニーズと技術シーズのマッチングが成立

～i-Constructionのさらなる推進を目指して革新的技術の導入を加速～

中部地方整備局では、現場ニーズ65件に対する技術シーズの公募を行った結果、16件の応募があり、4件のマッチングが成立しました。

今後は、技術シーズ提供者と個別に調整を行いながら、中部地方整備局管内における現場試行を順次実施していく予定です。

1. 取組の目的

国土交通省では、建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」の推進により、誰でも働きやすい現場を目指しています。そのため、新技術を建設現場に取り入れることを目的に建設現場のニーズと企業の持つ技術シーズをマッチングさせる取組を行っています。

2. 取組の詳細

- ・現場ニーズの件数：65件
- ・技術シーズの件数：16件

※本年度も中部経済産業局と連携し、独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営するマッチングサイト「ジェグテック」(J-GoodTech)に現場ニーズを掲載し、6件のご応募を頂きました。

なお、マッチングが成立した技術の詳細については、別紙をご覧ください。

3. 掲載先

中部地方整備局 i-Construction 中部サポートセンターのホームページ
(<https://www.cbr.mlit.go.jp/construction.html>)に情報を掲載しています。

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ

5. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 企画部 技術管理課 TEL：052-953-8131

課長補佐 高井 知啓（たかい ともひろ）

担当係長 七尾 洋介（ななお ようすけ）

i-Constructionを推進するための現場ニーズ・技術シーズのマッチングによる新技術の現場試行について

マッチング技術一覧

現場ニーズ（事務所名）		技術シーズ	シーズ提供者 ◎ 応募申請者 ○ 共同開発者
1	小型でミリ単位まで正確に測定可能なGPS測量機が欲しい（富士砂防事務所）	高精度衛星測位による地上での緩慢な微小変動を精緻に計測する技術	◎ライドマティクステクノロジーズ株式会社 ○静岡大学情報学部情報科学科 木谷研究室
2	現場作業者の熱中症対策に関する技術が欲しい（静岡国道事務所）	熱中症リスクをモニタリングする技術（副題）：WBGTをモニタリングしてLTE通信を使ったクラウド管理	◎伸和プリント工業株式会社
3	特定外来生物「オオキンケイギク」を防除できる技術が欲しい（浜松河川国道事務所）	高温水を活用したオオキンケイギク防除技術	◎日本ロード・メンテナンス(株) ○東京農業大学地域環境科学部造園科学科 田中聡助教
4	道路異常箇所の自動抽出・事故損傷箇所を判別する技術が欲しい（名古屋国道事務所）	道路のひび割れAI検知および事故前後画像のクラウド管理技術	◎エコモット株式会社

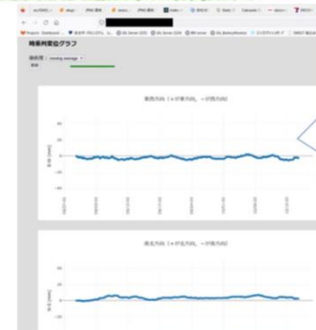
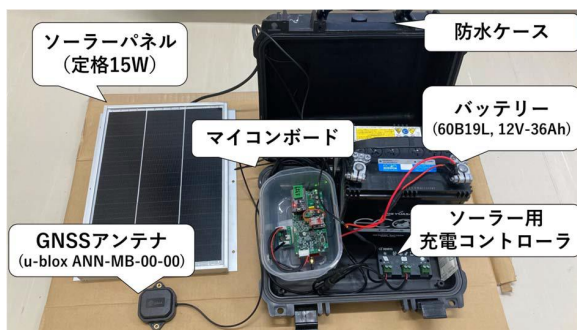
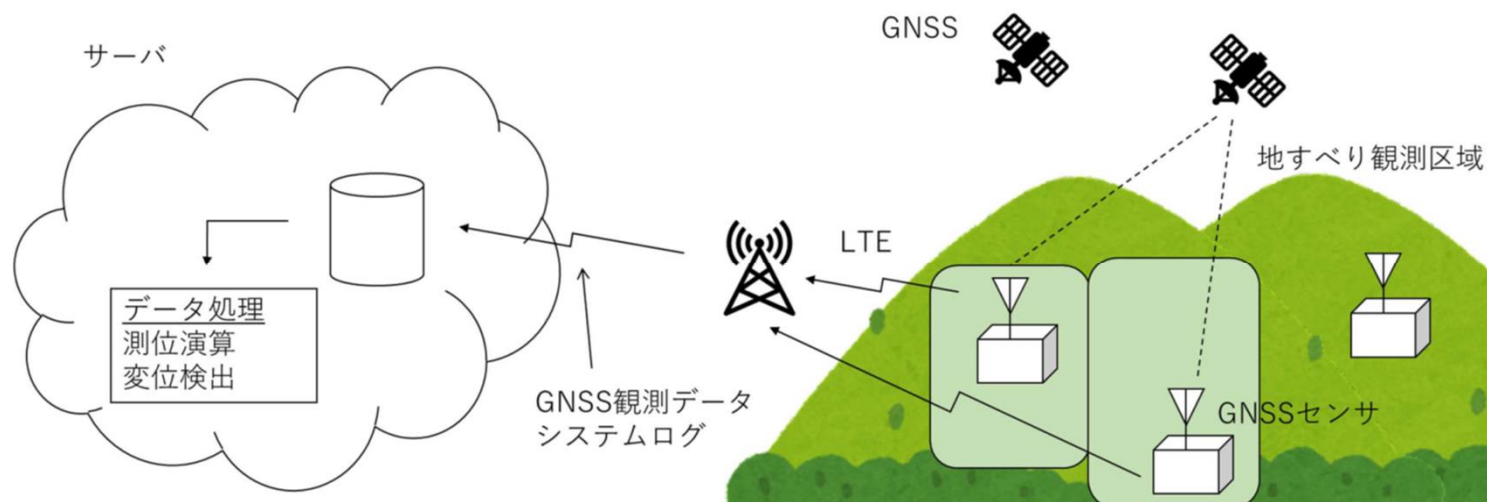
①小型でミリ単位まで正確に測定可能なGPS測量機の技術

技術シーズ応募申請者: ライドマティクステクノロジーズ株式会社
共同開発者: 静岡大学情報学部情報科学科 木谷研究室

【高精度衛星測位による地上での緩慢な微小変動を精緻に計測する技術】

■技術シーズの概要

- 市販の廉価な高精度衛星測位受信モジュール（車載用途等）を複数用いて、観測データから後処理高精度測位演算を行って、絶対位置精度を高めて出力するシステム
- 現地に設置した複数の高精度衛星測位受信モジュールを用い、また国土地理院の電子基準点の観測成果と合わせて後処理測位演算することで、リアルタイムではないが早い時間（1時間以内）で高い絶対位置精度を実現。
- 演算はクラウド化することで可搬性の高いものとなる。

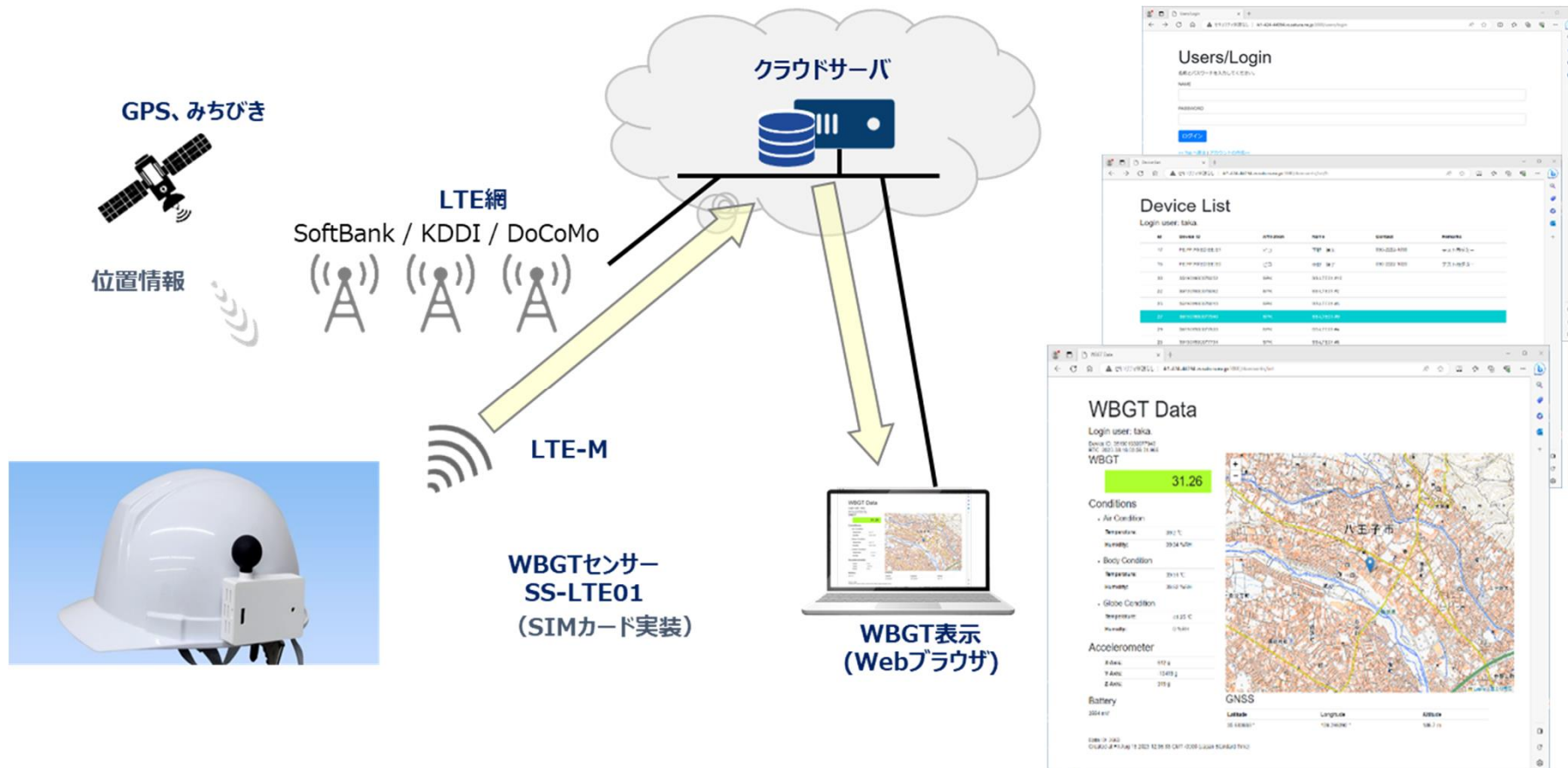


②熱中症リスクをモニターできる技術

【熱中症リスクをモニタリングする技術】

■技術シーズの概要

- 管理者はWeb上の管理画面(地図)に表示する位置に居る作業者個々人がどんなレベルの熱中症指数(WBGT)環境下で作業して居るかを常時把握出来る。
- 管理限界値を設定する事で、危険な熱中症指数(WBGT)環境下に晒されて居る作業者に退避／休憩を指示する事が出来る。



③特定外来生物「オオキンケイギク」を防除できる技術

技術シーズ応募申請者：日本ロード・メンテナンス株式会社

共同開発者：東京農業大学 地域環境科学部 造園科学科 田中 聡 助教

【高温水を活用したオオキンケイギク防除技術】

■技術シーズの概要

- オオキンケイギクの植生を理解しており、適切な時期に、適切な散布方法及び散布時間でオオキンケイギクに散布することで、確実に枯死することができる。
- 地中に存在する種の発芽時期により、多少のオオキンケイギクは残ってしまうため、2～3年程度、継続的に実施することで、拡大範囲を抑えることは実証されている。
- 高温水を活用することにより、除草剤と異なり河川堤防等での使用が可能であり、安全で安心な施工方法である。

■過去の事例



令和5年4月24日 施工前

4月28日施工後

7月22日(3ヶ月後撮影)

④道路異常箇所の自動抽出・事故損傷箇所を判別する技術

技術シーズ応募申請者:エコモット株式会社

【道路のひび割れAI検知および事故前後画像のクラウド管理技術】

■技術シーズの概要

- 通信型ドライブレコーダーの映像からAI処理で道路のひび割れ状況をリアルタイム解析
 - 解析結果は、クラウドに自動保存およびWeb表示、帳票出力
- 毎日走行している道路巡回車のドラレコ画像を、すべてクラウドに自動保存
 - クラウド上の日々の画像を時系列に参照することで、事故発生前の損傷箇所の特定が可能

